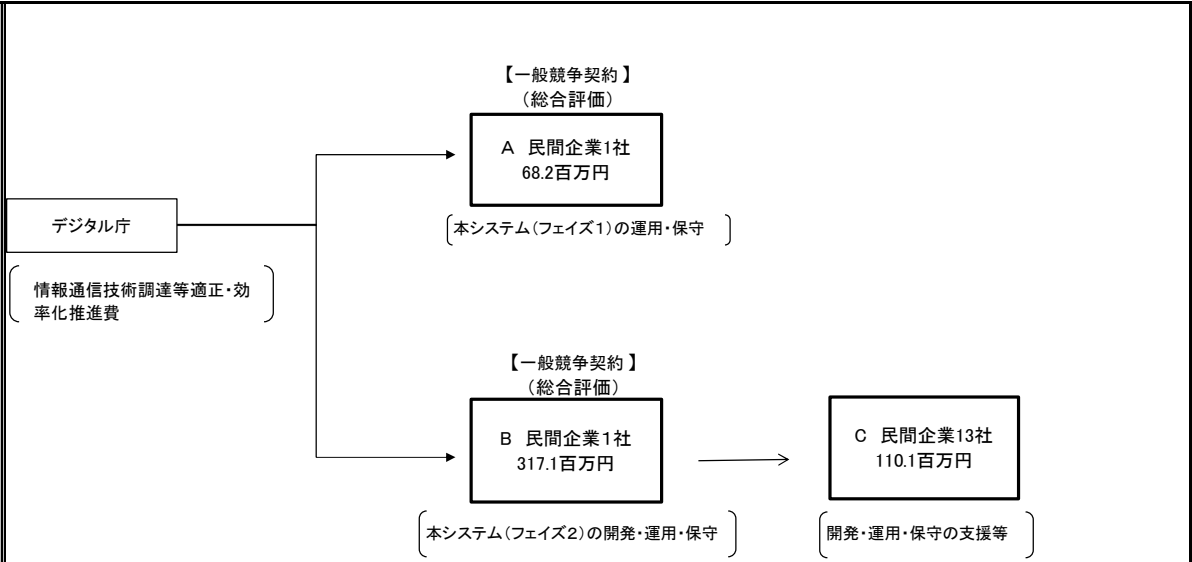


令和5年度行政事業レビューシート ( デジタル庁 )

事業名	Visit Japan Web			担当部局	国民向けサービスグループ	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	Visit Japan Web 担当	シニアエキスパート 住田 智子	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画 (令和5年(2023年)6月9日)		
政策				主要経費	その他の事項経費		
施策							
政策体系・評価書URL							
事業の目的 (5行程度以内)	日本への入国等に係る一連の手続(検疫、入国審査、税関)について、水際対策の効率的な実施と利用者の利便性向上を図る観点から、スマートフォン等の利用を通じたデジタル化を進めるとともに、入国手続以外においても活用することで、更なる利便性向上を図るもの。						
現状・課題 (5行程度以内)	日本への入国に係る一連の手続は、入国者の利便性の更なる向上とともに各業務全般の効率化の実現が喫緊の課題となっている。訪日外国人旅行者等の入国者の増加が見込まれる中、Visit Japan Webの安定的な運用等を担保するために体制整備も含め必要な対応を行うとともに、関係省庁と緊密に連携しながら、必要な機能拡充を迅速に実現していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、日本への入国等に係る一連の手続(検疫、入国審査、税関)について、水際対策の効率的な実施と利用者の利便性の更なる向上を図る観点から、令和3年12月に運用を開始した。令和4年度中にeVISAとの連携等の追加機能のリリースを実施するとともに、令和5年4月からは入国手続のみならず日本国内滞在時に消費税免税購入手続きにおいても利用することができるよう必要な機能拡充を実施した。令和5年度及び令和6年度は引き続き本事業の運用を継続していくとともに、関係省庁とも連携しながら必要な機能拡充を実現していく。						
事業概要URL							
実施方法	委託・請負						
補助率等							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
			/	/	/	/	/
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
執行額(G)	-	59	385	/	/		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	/	/		
当初予算+補正予算に対する執行額の 割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	/	/		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)	訪日外国人等が、日本への入国の際に入国手続において利用できるWebサービスを提供する。										
↓											
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込		
	CIQ手続(検疫・入国審査・税関)における水際対策の効率的な実施と利用者の利便性の更なる向上を図る		活動実績	-	-	-	-	-	-		
			当初見込み	-	-	-	-	-	-		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	今後、訪日外国人等の増加が見込まれる中、本サービスの利便性の向上を図っていく必要がある。									
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度			
	稼働率99.9%以上	本システムが利用可能な時間の比率を稼働率として規定し、予定稼働時間に対する実稼働時間の達成度合いを評価する。	成果実績	%	-	100	100	-			
			目標値	%	-	99.9	99.9	-			
			達成度	%	-	100.1	100.1	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	システムの稼働状況は、システムに障害等が発生すれば、即時に運用事業者から報告があり、本システム稼働後以降、目標値を達成している。また、フェイズ2稼働以降、本システムの登録率を30%以上保つことも目標としている。入国者数(統計データ(estat))と本システムの入国帰国の予定の登録者の割合から登録率を算出し評価をすることとしている。令和4年度におけるフェイズ2の登録率は、91.6%となっている。本目標は、長期アウトカムで設定しているが、短期アウトカムでも重要であることから、同様な目標としている。										
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度			
			成果実績								
			目標値								
			達成度	%	-	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	今後、訪日外国人等の増加が見込まれる中、本サービスの安定的な運用を図っていくとともに、本サービスの利便性の向上を図っていく必要がある。									
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度			
	稼働率99.9%以上	本システムが利用可能な時間の比率を稼働率として規定し、予定稼働時間に対する実稼働時間の達成度合いを評価する。	成果実績	%	-	100	100	-			
			目標値	%	-	99.9	99.9	-			
			達成度	%	-	100.1	100.1	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	システムの稼働状況は、システムに障害等が発生すれば、即時に運用事業者から報告があり、本システム稼働後以降、目標値を達成している。また、フェイズ2稼働以降、本システムの登録率を30%以上保つことも目標としている。入国者数(統計データ(estat))と本システムの入国帰国の予定の登録者の割合から登録率を算出し評価をすることとしている。令和4年度におけるフェイズ2の登録率は、91.6%となっている。										
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由										
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由										





**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
プロジェクト管理費等	本システム(フェイズ1)の運用・保守	68.2	プロジェクト管理費等	本システム(フェイズ2)の開発・運用・保守	317.1
計		68.2	計		317.1
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
設計開発	本システム(フェイズ2)の開発支援	34.1			
計		34.1	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	BIPROGY株式会社	2010601029542	本システム(フェイズ1)の運用・保守	68.2	一般競争契約 (総合評価)	1	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	本システム(フェイズ2)の開発・運用・保守	317.1	一般競争契約 (総合評価)	3	68.1%	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社オーク	1020001069057	本システム(フェイズ2)の開発支援	34.1				
2	NECソリューションイノベータ株式会社	7010601022674	本システム(フェイズ2)の開発支援	32.5				
3	株式会社ヒューマンシステム	3010401025303	本システム(フェイズ2)の開発支援	15.8				
4	株式会社SHIFT	8010401073462	本システム(フェイズ2)の運用・保守支援	7.9				
5	株式会社キャリアビート	2350001014474	本システム(フェイズ2)の開発支援	5.3				
6	株式会社ベレシート	1011001056137	本システム(フェイズ2)の開発支援	4.2				
7	NECネットエスアイ株式会社	6010001135680	本システム(フェイズ2)の運用支援	2.9				
8	アイエックス・ナレッジ株式会社	5010401047403	本システム(フェイズ2)の開発支援	2.3				
9	株式会社フォレストック	9430001028781	本システム(フェイズ2)の開発支援	2				
10	ランゲージワン株式会社	6011001104840	本システム(フェイズ2)の運用支援	1.4				
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	